

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-01-15

## ブエノスアイレス大学「異文化間コミュニケーション」ワークショップ報告集

川村, 湊 / KAWAMURA, Minato

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Bulletin of the Faculty of Intercultural Communication, Hosei University  
Ibunka / 異文化. 論文編

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

5

(終了ページ / End Page)

6

(発行年 / Year)

2013-04

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00008690>

# ブエノスアイレス大学 「異文化間コミュニケーション」 ワークショップ報告集

川村 湊

KAWAMURA Minato

2012年8月14日、アルゼンチン国立ブエノスアイレス大学において、「異文化間コミュニケーション」と題されたワークショップが開催された。これはブエノスアイレス大学社会学部 GINO GERNANI 研究所と、ブエノスアイレス大学アルゼンチン韓国研究所の共催によるもので、アルゼンチン韓国研究協会、アルゼンチン商工会議所の後援によるものである。発表者、参加者（通訳、発言者）は、以下の通り。

川村湊（法政大学国際文化研究科教授）

守屋貴嗣（法政大学国際文化研究科講師）

久野量一（法政大学社会学部教授）

高木佳奈（東京外国語大学大学院博士課程前期在学中）

Carolina Mera（ブエノスアイレス大学社会学部教授、アルゼンチン韓国研究所所長）

金煥基（東国大学校文科大学教授、日本学研究所所長）

Han YongSu（東国大学校文科大学教授、ブエノスアイレス大学客員教授）

小那覇セシリア（ラプラタ大学教授、司会・通訳）

久田アレハンドラ（ラプラタ大学講師・通訳）

等である。

発表のうち、川村湊「もうひとつの『ラテンアメリカ文学』」、守屋貴嗣「アルゼンチン日本語文学——『巴茶媽媽』について」、高木佳奈「日本人移住者が見たアルゼンチン——アルゼンチンに関する俳句・川柳の考察」、金煥基「アルゼンチン韓国移民文学」は、川村を研究代表者とした「日系南米移民および韓国系移民による文学に関する総合的研究」の一環として行われたもので、文部科学省による科学研究助成費（基盤研究C一般）の助成によるものである。

本報告集では、川村、守屋、高木の発表を基にした論文・インタビューを掲載する。なお、ワークショップの詳細は、現地の日系新聞『ラブラタ報知』2012年8月28日号において報道された。